

【練習問題】

[6] 次の文章を読んで、後の設間に答えよ。

雪おもしろく積もりたる朝に、白河院に、御幸などもやあらむと思ひて、ある殿上人の馬引か^(a)せて参り給へりけるに、院、「いとおもしろきかな」と仰^(b)せられて、御覽ぜむと思ほしめしたりけるに、馬具して参りたる、^①いみじく感ぜさせ給ひて、御^(イ)隨身の参りたりける、一人御供にて、にはかに御幸ありけるに、北山の方ざまに渡らせ給ひければ、その隨身ふと思ひよりて、もし小野の後の山住みし給ふなどへや渡らせ給はむずらむと思ひて、かの宮に詣でつかまつるものにやさぶらひけむ、にはかにしのびて、「御幸の侍る、そなたざまに渡らせ給ふ。^(A)もしその御わたりなどへや侍らむずらむ」と^②告げきこえければ、かの入道の宮、その御用意ありて、法華堂に三昧僧経しづやかに読ま^(B)せさせ給ひて、^(C)庭の上いさか人のあと踏みなどもせず、うちいで十具ばかりありける、中より切りて、袖二十出ださむ用意ありけるを、「もし入りて御覽する事も侍らむ。いと見苦しくや」と女房申しけれど、切りて出だし給ひけるに、^③すでに渡らせ給ひて、階隠の間に御車立てさ^(c)せ給ひて、かくとや侍りけむ。さやうに侍りけるほどに、^(ウ)汗衫着たる童二人、一人は銀の銚子に御酒入れても参り、いま一人は銀の^(エ)折敷に金の御^(ガ)盃^(カ)据ゑ

〔出題校〕
千葉大

- 〔重要語句〕
 ○おもしろし
 ○御幸
 ○殿上人
 ○参る
 ○給ふ
 ○いと
 ○仰す
 ○御覽す
 ○思ほしめす
 ○具す
 ○いみじ
 ○隨身
 ○にはかなり
 ○渡る
 ○詣づ
 ○つかまつる
 ○さぶらふ
 ○しのぶ
 ○侍り
 ○わたり

て、大柑子御だいかうじさかなにて出だし給へりければ、御とも殿上人取りて参りて、いとめづらしき御用意に侍りけり。かへら(d)せ給ひて後「(D)かしこう内を御覽ぜでかへらせ給ひぬる」など御たち申しければ「雪見に渡り給ひて入り給ふ人やはある」とぞ④宣はせける。

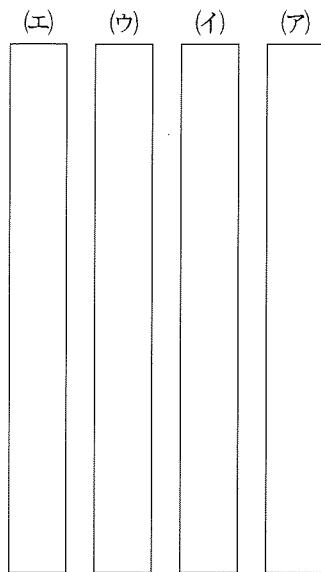
(『今鏡』)

(注) ○三昧僧——法華堂に常住して法華三昧を修する僧。

○階隠の間——階隠とは寝殿の階の前に柱を一本立て、上に屋根を作りかけたもので、輿や車を寄せるための設け。「階隠の間」とは、その階隠の中央に当たる間。

○大柑子——大きな柑子。柑子はみかんの類をいう。

問一 傍線部(ア)——(エ)の漢字の読みをひらがなで記せ(現代仮名づかいを用いてもよい)。



-
- きこゆ
 - 用意
 - うちにで
 - 女房
 - 申す
 - すでに
 - 立つ
 - かく
 - ほど
 - 汗衫
 - 童
 - めづらし
 - かしこし
 - 宣はす